

## 排せつ相談

6月19日に職員向けに随時研修を実施しました。今回は日本コンチネンス協会 認定排泄ケア専門員であり、本校に一昨年までご勤務いただいていた堀切ひろみ氏に「学校における排せつ指導・介助について」講義していただきました。その内容の一部を紹介いたします。

○個々に応じた排せつ環境を整え、排せつに支援が必要な人の気持ちに寄り添うこと、現在だけでなく卒業後をイメージした指導も必要。

○排せつ指導＝身体を動かす重要な機会であるという捉え方（キネステティックという介助の考え方）

ただオムツ交換するのではなく、排せつに関わる一つ一つの動きを丁寧に繰り返すことで、姿勢を整えたり体調をチェック（尿や便の状態を確認）したりする時間とする。それが異常の早期発見、合併症の予防につながり、「いつもと違う」に気づきやすくなる。

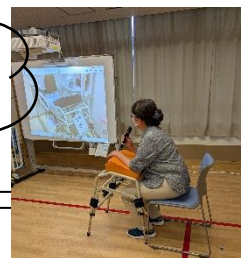
○処理するオムツ交換ではなく健康の維持と個人の尊厳を支える関わりであることを意識しながら、丁寧に、安全に。トイレという使用目的のはっきりした場所で行われる行為のため、非言語的メッセージのやり取りが分かりやすく、コミュニケーションのきっかけとなり、気持ちが伝わることで信頼関係を築く場にもなる。

そして、6月26日には個別相談も行い、個々に応じたアドバイスもいただきました。

夏休み明けにも排せつ相談を行う予定です。ご家庭でも排せつに関わる悩みがありましたら、お気軽に各担任までお声がけください。

「とんのトイレの神様」である堀切氏の講義は、改めて「排せつ」の大切さを再認識させてもらいました。

トイレの使い分けや用具の使い方を教えてくださいました

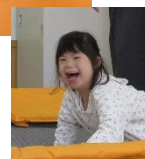


## 感覚運動を促す、自立活動室人気遊具をご紹介します

### ◎オーシャンスイング



### ◎大型トランポリン



### ◎ボールプール



### ◎その他:トンネル、ハンモック、縦長ブランコ、ヨギボーなど

「触覚」「前庭感覚」「固有感覚」の3つの感覚についてご紹介したいと思います。これらの感覚の育ちは、発達の土台となる大切な部分です。

「触覚」……ふれあいなど皮膚を通して感じる感覚が安心感を与え、情緒の安定や身体イメージの育ちにつながる。

「前庭感覚」…体の傾きや空間を把握する感覚であるため、体の真ん中が分かる、姿勢やバランスを保つ、スムーズな眼球運動などに影響する。

「固有感覚」…筋肉や関節に感じる感覚で、力の入れ具合、身体的位置、動きを感じ取って重力に対して姿勢を保つことなどに影響する。